

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	健康・スポーツ総論						
担当教員	村田 和隆					科目ナンバ-	Z61030
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	スポーツ文化の楽しみ方						
授業の概要	スポーツ文化へのかかわり方は、単に「する」ことだけに限りません。スポーツを「みる」ことは、現代社会の人々の生活にとって欠かすことのできない楽しみの一つであり、スポーツ大会やイベントを「ささえる」ことや興味や関心のあるスポーツについて「しらべる」ことも、大切な関わり方の一つです。授業では、現代社会におけるスポーツの価値を多角的に捉え、様々な楽しみ方や関わり方があることを見ていきます。						
到達目標	健康的な生活を送るために運動・スポーツの必要性があることを認識し、個人のスポーツニーズに合わせた運動・スポーツの楽しみ方を、生涯にわたり実践するための知識とスキルを身につけることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回：ガイダンス、健康とスポーツについて考える 第2回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (1) 体力 第3回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (2) 筋 第4回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (3) からだをコントロールする！ 第5回：スポーツの向上をめざして (1) 筋肉つくりと筋力つくり 第6回：スポーツの向上をめざして (2) 「スタミナ」をつけるには？ 第7回：スポーツの向上をめざして (3) 様々なスポーツに必要な体力 第8回：スポーツの向上をめざして (4) 「体力がすべて」は本当？ 第9回：スポーツを楽しむための体力をつけよう!! 第10回：女子のスポーツ適性 (1) からだのなかみはスポーツ向き？ 第11回：女子のスポーツ適性 (2) 体力は大丈夫？ 第12回：トップアスリートにみるスポーツと体力 (1) からだの大きさとなかみ 第13回：トップアスリートにみるスポーツと体力 (2) 筋力とすばやさ、身体能力 第14回：成長・発達と老化と健康・スポーツ 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：4回目以降は、松蔭manabaのコンテンツにある配布資料を事前に熟読し、次回の授業で質問する事に答えられるようにしておいて下さい。(学習時間:2時間) 授業後学習：毎回の授業で配布した資料を元に、授業で学習したことについて復習し、次回の授業で質問する事に答えられるようにしておいて下さい。(学習時間:2時間)						
授業方法	講義(松蔭manabaを活用して、配布資料を公開したり課題レポートを課したりする)						
評価基準と評価方法	試験：30%、小レポート：60%、平常点：10%、遅刻した場合は減点 欠席回数が5回以上の者は、授業最終回の試験を受けることができません。						
履修上の注意	20分以上の遅刻は欠席扱いとします。(交通機関延着による遅刻は、延着証明書がある場合は遅刻としない) 遅刻3回で欠席1回とみなします。 携帯電話やスマートフォンは授業で使用を許可した時以外は使用しないこと。 私語、居眠りは厳禁とします。 授業中の無断退出は認めません。退出の必要がある場合は、教員に申し出ること。						
教科書	使用しない。こちらで用意する資料を配付・使用します。						
参考書	現代の体育・スポーツ科学 コーチングの科学、福永哲夫・湯浅景元、朝倉書店、ISBN 4-254-69518-7						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	健康・スポーツ総論						
担当教員	村田 和隆					科目ナンバ-	Z61030
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	スポーツ文化の楽しみ方						
授業の概要	スポーツ文化へのかかわり方は、単に「する」ことだけに限りません。スポーツを「みる」ことは、現代社会の人々の生活にとって欠かすことのできない楽しみの一つであり、スポーツ大会やイベントを「ささえる」ことや興味や関心のあるスポーツについて「しらべる」ことも、大切な関わり方の一つです。授業では、現代社会におけるスポーツの価値を多角的に捉え、様々な楽しみ方や関わり方があることを見ていきます。						
到達目標	健康的な生活を送るために運動・スポーツの必要性があることを認識し、個人のスポーツニーズに合わせた運動・スポーツの楽しみ方を、生涯にわたり実践するための知識とスキルを身につけることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回：ガイダンス、健康とスポーツについて考える 第2回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (1) 体力 第3回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (2) 筋 第4回：健康な生活やスポーツ活動をささえるからだ (3) からだをコントロールする！ 第5回：スポーツの向上をめざして (1) 筋肉つくりと筋力つくり 第6回：スポーツの向上をめざして (2) 「スタミナ」をつけるには？ 第7回：スポーツの向上をめざして (3) 様々なスポーツに必要な体力 第8回：スポーツの向上をめざして (4) 「体力がすべて」は本当？ 第9回：スポーツを楽しむための体力をつけよう!! 第10回：女子のスポーツ適性 (1) からだのなかみはスポーツ向き？ 第11回：女子のスポーツ適性 (2) 体力は大丈夫？ 第12回：トップアスリートにみるスポーツと体力 (1) からだの大きさとなかみ 第13回：トップアスリートにみるスポーツと体力 (2) 筋力とすばやさ、身体能力 第14回：成長・発達と老化と健康・スポーツ 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：4回目以降は、松蔭manabaのコンテンツにある配布資料を事前に熟読し、次回の授業で質問する事に答えられるようにしておいて下さい。(学習時間:2時間) 授業後学習：毎回の授業で配布した資料を元に、授業で学習したことについて復習し、次回の授業で質問する事に答えられるようにしておいて下さい。(学習時間:2時間)						
授業方法	講義(松蔭manabaを活用して、配布資料を公開したり課題レポートを課したりする)						
評価基準と評価方法	試験：30%、小レポート：60%、平常点：10%、遅刻した場合は減点 欠席回数が5回以上の者は、授業最終回の試験を受けることができません。						
履修上の注意	20分以上の遅刻は欠席扱いとします。(交通機関延着による遅刻は、延着証明書がある場合は遅刻としない) 遅刻3回で欠席1回とみなします。 携帯電話やスマートフォンは授業で使用を許可した時以外は使用しないこと。 私語、居眠りは厳禁とします。 授業中の無断退出は認めません。退出の必要がある場合は、教員に申し出ること。						
教科書	使用しない。こちらで用意する資料を配付・使用します。						
参考書	現代の体育・スポーツ科学 コーチングの科学、福永哲夫・湯浅景元、朝倉書店、ISBN 4-254-69518-7						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	食物と健康						
担当教員	原 正之					科目ナンバ-	Z61020
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	食物の摂取、消化、吸収、代謝、しくみの解説と、現代の食物や健康維持に関わる話題（安全に健やかに食べる こと、栄養を摂ること、とは何か？）。						
授業の概要	前半では食物の消化と吸収のしくみや、血液による栄養分の循環と老廃物の排泄について解説する。次に、蛋白質、糖質、脂質の代謝とこれに影響を与えるビタミンやホルモンの役割について解説し、さらに体外から取り込んだ薬物や異物の代謝についても触れる。代謝についてのこれらの基礎的な知識をふまえた上で、後半では脳神経系を介した食欲の調節機構、エネルギー代謝、人体の概日リズム（体内時計）、健康食品、食品の安全性についての話題など、いくつかの関心の高いトピックスについて内容を解説する。						
到達目標	栄養学の基礎的な知識や概念を理解する事で、健康な食生活や食品の安全性について、氾濫する宣伝に惑わされずに、科学的に正確な情報を求め、考える習慣を身につける[態度・志向性]。日常生活での健康維持にも関係のある問題として自ら考えることができる。[態度・志向性]						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食物の消化と吸収のしくみ 2. 栄養分の循環と老廃物の排泄 3. 蛋白質の代謝 4. 糖質の代謝 5. 脂質の代謝 6. 薬物や異物の代謝 7. ミネラルの代謝 8. ビタミンの役割 9. ホルモン・自律神経の働きと恒常性 10. 食欲の調節機構 11. エネルギー代謝 12. 健康食品について 13. 生活習慣病 14. 飲酒と喫煙 15. 全体のまとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	新聞（インターネット上の報道も含む）などで報道される医療制度、医療技術についての記事に良く目を通して、必要であれば記録しておく（学習時間：週3時間程度）。授業で配布した資料を用いて復習を行う（学習時間：週1時間程度）。必要に応じて、講義内容に関連した調査や自分の意見についてメモなどの提出を求める事がある。授業方法： 資料等を配付して講義を行う。主に資料（プリント）に記載された事項の説明を中心に授業を進めるが、自分の意見について簡単なメモの提出を求める事がある。						
授業方法	資料等を配付して講義を行う。主に資料（プリント）に記載された事項の説明を中心に授業を進めるが、自分の意見について簡単なメモの提出を求める事がある。						
評価基準と評価方法	平常点（授業態度、積極性など）50%と課題レポート提出50%により、総合的に評価する。						
履修上の注意	参考図書としては、健康食品などについてのいわゆるハウツー本等ではなく、食品科学や栄養学の基礎的な解説書や教科書を読むことを薦める。厚生労働省、農林水産省、内閣府食品安全委員会等のホームページも参考になる場合がある。						
教科書	教科書は特に指定しない。						
参考書	基礎栄養学 補訂版（池田彩子、鈴木恵美子、脊山洋右、野口忠、藤原洋子 編、新スタンダード栄養・食物シリーズ9、東京化学同人 ISBN978-4-8079-1681-8）。						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	女性と健康						
担当教員	西川 央江					科目ナンバ-	Z61010
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1～2	単位数	2.0
授業のテーマ	女性の心身の健康についての正しい知識と情報を得て、生涯にわたって女性の健康を維持増進させていくことについて学ぶ。						
授業の概要	健やかに生きるという事は、すべての人が互いの人権を尊重し、能力を十分に発揮することである。特に女性は妊娠・出産という男性と異なる特質を有しているため、心身の両面からの配慮が必要になってくる。本授業では、基礎知識として健康概念を学習し、その理解を前提に、女性の生涯を通じた健康、さらには次世代の健康な育成についてさまざまな観点から考える。そして、学んだ正しい情報・知識を基に、女性としての自身の健康をより向上させる実際の能力を身につけることを学ぶ。						
到達目標	1. 女性の健康課題について理解を深めることができる【知識・理解】 2. 女性の健康の保持と増進に必要な知識・情報について理解を深めることができる【知識・理解】 3. 自分の健康の課題を見つけることができ、それに対して愚痴的な改善方法を実施できるようになる【知識・理解・汎用的技能】						
授業計画	第1回 女性の健康の概念と基本理念(リプロダクティブ・ヘルス/ライフ) 第2回 生活習慣と女性の健康(①食事・排泄) 第3回 生活習慣と女性の健康(②運動・睡眠) 第4回 生涯を通じた女性の健康(①思春期と月経) 第5回 生涯を通じた女性の健康(②月経に関するトラブル) 第6回 生涯を通じた女性の健康(③妊娠・出産) 第7回 生涯を通じた女性の健康(④避妊・中絶) 第8回 生涯を通じた女性の健康(⑤性感染症予防) 第9回 生涯を通じた女性の健康(⑥子宮頸がん・乳がん・大腸がん) 第10回 生涯を通じた女性の健康(⑦ドメスティックバイオレンス) 第11回 生涯を通じた女性の健康(⑧性暴力被害) 第12回 生涯を通じた女性の健康(⑨タバコ・薬物の影響) 第13回 生涯を通じた女性の健康(⑩女性アスリートの健康) 第14回 生涯を通じた女性の健康(⑪メンタルヘルス)まとめ試験 第15回 講義全体の学習内容の総復習						
授業外における学習(準備学習の内容・時間)	授業前学習: シラバスを参考に次の講義内容に関する情報をメディアや文献から得る。そして、自分自身の健康状態を観察し、健康課題を見つける。(学習時間2時間) 授業後学習: 講義内容を振り返りまとめる。そして、講義内容をもとに自分自身の健康を保持増進させる方法を実践する。(学習時間2時間)						
授業方法	講義: テーマごとに女性の健康について、視聴覚教材を用いた講義を行う。テーマに対して、自分の女性としての健康課題を点検し、講義内容を参考に健康の保持増進のために実施することを見出す。						
評価基準と評価方法	まとめ試験60% 授業内での提出物40% まとめ試験: 授業で扱った女性と健康についての課題と保持増進について、理解度を評価する。 (到達目標1・2に関する到達目標の確認) 授業内での提出物: 各回提出のリアクションペーパー(講義についてのコメント・質問・課題への自分の考え)の内容・記述の的確さを評価する。(到達目標1・2・3に関する到達目標の確認) 課題に対するフィードバックの方法: まとめ試験については、講義全体の学習内容の総合復習時に講評する。リアクションペーパーの記述に対して翌週の講義時にコメントし、質問に対して開設する。						
履修上の注意	単位認定は出席3分の2以上で行います。自分の健康に関心を持ち、より健康になることを目指して健康管理に留意し、出席してください。						
教科書	テキストの指定はしない。講義時に資料を配布する。						
参考書	講義時に随時紹介する。						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習1／（バドミントン）						
担当教員	酒谷 友香子					科目ナンバ-	Z61111
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	スポーツのより深い楽しさの発見。						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	ダブルスのゲームのルールを理解し、説明できる。【知識・理解】 バドミントンの技術を習得し、戦術を考えてダブルスのゲームを実践出来るようになる。【態度・志向性】 クラス（履修者）のメンバーとコミュニケーションがとれる。【汎用的技能】						
授業計画	1回目：ガイダンス 2回目：バックハンド1：握り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール 3回目：バックハンド2：振り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール（確認） 4回目：バックハンド3：足の運び方、ダブルスゲーム：ルール 5回目：ドライブ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：ルール 6回目：ドライブ2：足の運び、ダブルスゲーム：サービスのポジション 7回目：スマッシュ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：サービスの方向 8回目：スマッシュ2：打点の位置、ダブルスゲーム、サービスの受け方：ポジション 9回目：ヘアピン、ダブルスゲーム：サービスの受け方：ラケットの構え方 10回目：ドロップ、ダブルスゲーム：サイドラインへの意識 11回目：パターン練習1：パターンの説明、ダブルスゲーム：エンドラインへの意識 12回目：パターン練習2：リズム、ダブルスゲーム：相手を動かす意識 13回目：パターン練習3：前後への揺さぶり、ダブルスゲーム：ポジショニング1 サービス時 14回目：パターン練習4：正確性、ダブルスゲーム：ポジショニング2 ラリー時 15回目：まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	実技なので授業時間内において動き続けられる体力が必要である。 通学では徒歩を心掛け、日頃から体を動かし、体力をつける。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	出席状況とゲーム数、勝敗数を総合して評価します。 平常点80%、レポート20%						
履修上の注意	運動に適した服装及び体育館シューズを持参の上、受講して下さい。バドミントンのみします。初心者が対象です。「バドミントンが上手になりたい」と思っている人が履修して下さい。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習1／（バドミントン）						
担当教員	酒谷 友香子					科目ナンバ-	Z61111
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	スポーツのより深い楽しさの発見。						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	ダブルスのゲームを理解し、説明できる。【知識・理解】 技術を習得し、戦術を考えてダブルスのゲームを実践出来るようになる。【態度・志向性】 クラス（履修者）のメンバーとコミュニケーションがとれる。【汎用的技能】						
授業計画	1回目：ガイダンス 2回目：バックハンド1：握り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール 3回目：バックハンド2：振り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール（確認） 4回目：バックハンド3：足の運び方、ダブルスゲーム：ルール 5回目：ドライブ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：ルール 6回目：ドライブ2：足の運び、ダブルスゲーム：サービスのポジション 7回目：スマッシュ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：サービスの方向 8回目：スマッシュ2：打点の位置、ダブルスゲーム、サービスの受け方：ポジション 9回目：ヘアピン、ダブルスゲーム：サービスの受け方：ラケットの構え方 10回目：ドロップ、ダブルスゲーム：サイドラインへの意識 11回目：パターン練習1：パターンの説明、ダブルスゲーム：エンドラインへの意識 12回目：パターン練習2：リズム、ダブルスゲーム：相手を動かす意識 13回目：パターン練習3：前後への揺さぶり、ダブルスゲーム：ポジショニング1 サービス時 14回目：パターン練習4：正確性、ダブルスゲーム：ポジショニング2 ラリー時 15回目：まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業は実技なので、時間内において動き続けられる体力が必要である。通学では徒歩を心掛け、日頃から体を動かし、体力をつける。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	出席状況とゲーム数、勝敗数を総合して評価します。 平常点80%、レポート20%						
履修上の注意	運動に適した服装及び体育館シューズを持参の上、受講して下さい。バドミントンのみします。初心者が対象です。「バドミントンが上手になりたい」と思っている人が履修して下さい。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習1／（バドミントン）						
担当教員	酒谷 友香子					科目ナンバ-	Z61111
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	スポーツのより深い楽しさの発見。						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	ダブルスのゲームのルールを理解し、説明できる。【知識・理解】 技術を習得し、戦術を考えてダブルスのゲームを実践出来るようになる。【態度・志向性】 クラス（履修者）のメンバーとコミュニケーションがとれる。【汎用的技能】						
授業計画	1回目：ガイダンス 2回目：バックハンド1：握り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール 3回目：バックハンド2：振り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール（確認） 4回目：バックハンド3：足の運び方、ダブルスゲーム：ルール 5回目：ドライブ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：ルール 6回目：ドライブ2：足の運び、ダブルスゲーム：サービスのポジション 7回目：スマッシュ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：サービスの方向 8回目：スマッシュ2：打点の位置、ダブルスゲーム、サービスの受け方：ポジション 9回目：ヘアピン、ダブルスゲーム：サービスの受け方：ラケットの構え方 10回目：ドロップ、ダブルスゲーム：サイドラインへの意識 11回目：パターン練習1：パターンの説明、ダブルスゲーム：エンドラインへの意識 12回目：パターン練習2：リズム、ダブルスゲーム：相手を動かす意識 13回目：パターン練習3：前後への揺さぶり、ダブルスゲーム：ポジショニング1 サービス時 14回目：パターン練習4：正確性、ダブルスゲーム：ポジショニング2 ラリー時 15回目：まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業は実技なので時間内において動き続けられる体力が必要である。通学では徒歩を心掛け、日頃から体を動かし、体力をつける。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	出席状況とゲーム数、勝敗数を総合して評価します。 平常点80%、レポート20%						
履修上の注意	運動に適した服装及び体育館シューズを持参の上、受講して下さい。バドミントンのみします。初心者が対象です。「バドミントンが上手になりたい」と思っている人が履修して下さい。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習1／（バドミントン）						
担当教員	酒谷 友香子					科目ナンバ-	Z61111
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	スポーツのより深い楽しさの発見。						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	ダブルスのゲームのルールを理解し、説明できる。【知識・理解】 技術を習得し、戦術を考えてダブルスのゲームを実践出来るようになる。【態度・志向性】 クラス（履修者）のメンバーとコミュニケーションがとれる。【汎用的技能】						
授業計画	1回目：ガイダンス 2回目：バックハンド1：握り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール 3回目：バックハンド2：振り方、シングルスゲーム（半面コート）：ルール（確認） 4回目：バックハンド3：足の運び方、ダブルスゲーム：ルール 5回目：ドライブ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：ルール 6回目：ドライブ2：足の運び、ダブルスゲーム：サービスのポジション 7回目：スマッシュ1：シャトルのスピード、ダブルスゲーム：サービスの方向 8回目：スマッシュ2：打点の位置、ダブルスゲーム、サービスの受け方：ポジション 9回目：ヘアピン、ダブルスゲーム：サービスの受け方：ラケットの構え方 10回目：ドロップ、ダブルスゲーム：サイドラインへの意識 11回目：パターン練習1：パターンの説明、ダブルスゲーム：エンドラインへの意識 12回目：パターン練習2：リズム、ダブルスゲーム：相手を動かす意識 13回目：パターン練習3：前後への揺さぶり、ダブルスゲーム：ポジショニング1 サービス時 14回目：パターン練習4：正確性、ダブルスゲーム：ポジショニング2 ラリー時 15回目：まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業は実技なので時間内において動き続けられる体力が必要である。通学では徒歩を心掛け、日頃から体を動かし、体力をつける。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	出席状況とゲーム数、勝敗数を総合して評価します。 平常点80%、レポート20%						
履修上の注意	運動に適した服装及び体育館シューズを持参の上、受講して下さい。バドミントンのみします。初心者が対象です。「バドミントンが上手になりたい」と思っている人が履修して下さい。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習2／（テニス）						
担当教員	吉川 小百合					科目ナンバ-	Z61112
学期	前期／1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームが出来るように学習する。 テニスの楽しさや出来る喜びを感じる。						
授業の概要	グラウンドストローク（フォアハンド・バックハンド）、ボレー（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、サーブの技術の習得。各ショットに適したグリップの説明。シングルス及びダブルスのルールの理解、シングルス、ダブルスのゲームの行い方、テニスのマナーの理解、審判の仕方。						
到達目標	テニスの基本技術と応用技術とルールやテニスのマナーを学び、試合をすることが出来る。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回 授業の説明・授業のねらい・安全管理・評価方法について説明を行う</p> <p>第2回 ラケットとボールに慣れる（ボールの弾み方、ラケットの長さを覚える）</p> <p>第3回 フォアハンドストローク（グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ）</p> <p>第4回 バックハンドストローク（グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ）</p> <p>第5回 グラウンドストローク（ショートラリー・ベースラインラリー）</p> <p>第5回 フォアハンドボレー、バックハンドボレー （グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ・ボレーボレー） ストローク復習</p> <p>第6回 サーブ（グリップとボールの回転の理解）・ストローク・ボレー復習</p> <p>第7回 スマッシュ（グリップとボールの回転の理解）ストローク・ボレー・サーブ復習</p> <p>第8回 ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第9回 フットワークの説明・ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第10回 サービス&レシーブ・ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第11回 ルールの説明・ポイントの数え方・サービス&レシーブ復習</p> <p>第12回～第13回 シングルのゲーム</p> <p>第14回～第15回 ダブルスのゲーム</p> <p>個人の技能に応じてシラバスの内容を変更して指導を行う場合がある。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習に関してはシラバスの「授業計画」や授業中に予告した内容を参考に、テニス雑誌やインターネット等を調査し関心を高めてくること。						
授業方法	実技						
評価基準と評価方法	授業への積極的参加度75%（授業への積極的参加度も重視し実技と合わせて総合的に評価する）技術点25%						
履修上の注意	テニスシューズを履くことが望ましい。雨天時はテニスコート横の体育館で行うため上履きシューズを持参すること。 *質問は授業前後に受け付けます。						
教科書							
参考書							

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習2／（テニス）						
担当教員	吉川 小百合					科目ナンバ-	Z61112
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	授業では基本技術の習得、ゲームのルールやテニスのマナーを学び応用技術を実習しゲームが出来るように学習する。 テニスの楽しさや出来る喜びを感じる。						
授業の概要	グラウンドストローク（フォアハンド・バックハンド）、ボレー（フォアハンド・バックハンド）、スマッシュ、サーブの技術の習得。各ショットに適したグリップの説明。シングルス及びダブルスのルールの理解、シングルス、ダブルスのゲームの行い方、テニスのマナーの理解、審判の仕方。						
到達目標	テニスの基本技術と応用技術とルールやテニスのマナーを学び、試合をすることが出来る。【態度・志向性】						
授業計画	<p>第1回 授業の説明・授業のねらい・安全管理・評価方法について説明を行う</p> <p>第2回 ラケットとボールに慣れる（ボールの弾み方、ラケットの長さを覚える）</p> <p>第3回 フォアハンドストローク（グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ）</p> <p>第4回 バックハンドストローク（グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ）</p> <p>第5回 グラウンドストローク（ショートラリー・ベースラインラリー）</p> <p>第5回 フォアハンドボレー、バックハンドボレー （グリップとボールの回転の理解・トスボールを打つ・ボレーボレー） ストローク復習</p> <p>第6回 サーブ（グリップとボールの回転の理解）・ストローク・ボレー復習</p> <p>第7回 スマッシュ（グリップとボールの回転の理解）ストローク・ボレー・サーブ復習</p> <p>第8回 ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第9回 フットワークの説明・ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第10回 サービス&レシーブ・ストローク・ボレー・サーブ・スマッシュ復習</p> <p>第11回 ルールの説明・ポイントの数え方・サービス&レシーブ復習</p> <p>第12回～第13回 シングルのゲーム</p> <p>第14回～第15回 ダブルスのゲーム</p> <p>個人の技能に応じてシラバスの内容を変更して指導を行う場合がある。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	予習に関してはシラバスの「授業計画」や授業中に予告した内容を参考に、テニス雑誌やインターネット等を調査し関心を高めてくること。						
授業方法	実技						
評価基準と評価方法	授業への積極的参加度75%（授業への積極的参加度も重視し実技と合わせて総合的に評価する）技術点25%						
履修上の注意	テニスシューズを履くことが望ましい。雨天時はテニスコート横の体育館で行うため上履きシューズを持参すること。 *質問は授業前後に受け付けます。						
教科書							
参考書							

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習3／（ゴルフ）						
担当教員	板谷 昭彦					科目ナンバ-	Z61113
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのゴルフ技術の習得						
授業の概要	この授業では、大学生に人気の高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。そこで生涯スポーツとして人気のあるゴルフの知識及びスイング理論を学び、基本スイング形成・応用スイング形成の手順及び打球の基本技術・応用技術の習得を目指します。また、ゴルフというスポーツを通して健康づくりや体力づくりの基礎的知識を学びます。						
到達目標	<p>(1) ゴルフスイングの理論および基本的なフォームを習得し、その理論を他者にわかりやすく説明することができる。【知識・理解】</p> <p>(2) その理論を理解し、ショートアイアン（9番）、ミドルアイアン（7番）、ロングアイアン（5番）、ウッドクラブ、それぞれのクラブの機能に合ったボールを打つことができる。【汎用的技能】</p> <p>(3) ゴルフの特色を知り、ゴルフへの興味と関心をより具体的なものとして意識することができる。【態度・志向性】</p>						
授業計画	<p>第1回：ガイダンス（授業の進め方、ゴルフ道具の説明）</p> <p>第2回：グリップ（握り方）、アドレス（構え方）、スイングフォームを作る</p> <p>第3回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（1）腕の使い方の習得</p> <p>第4回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（2）肩の回転の習得</p> <p>第5回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（3）体重移動の習得</p> <p>第6回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（4）腕、肩、体重移動を連動させたスイングの習得</p> <p>第7回：ショートアイアン（9番）を使って正規のボールでの打球練習（1） HALFショットの習得</p> <p>第8回：ショートアイアン（9番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第9回：ミドルアイアン（7番）を使って正規のボールでの打球練習（1） HALFショットの習得</p> <p>第10回：ミドルアイアン（7番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第11回：ロングアイアン（5番）を使って正規のボールでの打球練習（1） HALFショットの習得</p> <p>第12回：ロングアイアン（5番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第13回：ウッドクラブを使って正規のボールでの打球練習</p> <p>第14回：ショートアイアンを使ってアプローチショットの練習</p> <p>第15回：実技テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習；テレビやビデオでゴルフの試合等を見て、ゴルフに関する知識を深めておいてください。（90分）</p> <p>授業後学習；授業で取り上げた内容の確認と整理（90分）</p>						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	<p>平常点70%、技術の到達度30%</p> <p>平常点：授業への取り組みにより総合的に評価する。</p> <p>技術の到達度：使用するクラブの機能通り打つことができているか評価する。</p>						
履修上の注意	<p>運動に適した服装で参加すること。ゴルフ用手袋は大学で用意している。</p> <p>授業は、体育館と屋外のゴルフ練習場で行いますので、体育館用シューズと屋外用シューズの両方を準備して下さい。</p> <p>※質問は授業の前後で受け付けます。</p>						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習3／（ゴルフ）						
担当教員	板谷 昭彦					科目ナンバ-	Z61113
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのゴルフ技術の習得						
授業の概要	この授業では、大学生に人気の高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。そこで生涯スポーツとして人気のあるゴルフの知識及びスイング理論を学び、基本スイング形成・応用スイング形成の手順及び打球の基本技術・応用技術の習得を目指します。また、ゴルフというスポーツを通して健康づくりや体力づくりの基礎的知識を学びます。						
到達目標	<p>(1) ゴルフスイングの理論および基本的なフォームを習得し、その理論を他者にわかりやすく説明することができる。【知識・理解】</p> <p>(2) その理論を理解し、ショートアイアン（9番）、ミドルアイアン（7番）、ロングアイアン（5番）、ウッドクラブ、それぞれのクラブの機能に合ったボールを打つことができる。【汎用的技能】</p> <p>(3) ゴルフの特色を知り、ゴルフへの興味と関心をより具体的なものとして意識することができる。【態度・志向性】</p>						
授業計画	<p>第1回：ガイダンス（授業の進め方、ゴルフ道具の説明）</p> <p>第2回：グリップ（握り方）、アドレス（構え方）、スイングフォームを作る</p> <p>第3回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（1）腕の使い方の習得</p> <p>第4回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（2）肩の回転の習得</p> <p>第5回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（3）体重移動の習得</p> <p>第6回：プラスチックボールでの打球練習でフォームを作る（4）腕、肩、体重移動を連動させたスイングの習得</p> <p>第7回：ショートアイアン（9番）を使って正規のボールでの打球練習（1）-halfショットの習得</p> <p>第8回：ショートアイアン（9番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第9回：ミドルアイアン（7番）を使って正規のボールでの打球練習（1）halfショットの習得</p> <p>第10回：ミドルアイアン（7番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第11回：ロングアイアン（5番）を使って正規のボールでの打球練習（1）halfショットの習得</p> <p>第12回：ロングアイアン（5番）を使って正規のボールでの打球練習（2）フルショットの習得</p> <p>第13回：ウッドクラブを使って正規のボールでの打球練習</p> <p>第14回：ショートアイアンを使ってアプローチショットの練習</p> <p>第15回：実技テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	<p>授業前準備学習；テレビやビデオでゴルフの試合等を見て、ゴルフに関する知識を深めておいてください。（90分）</p> <p>授業後学習；授業で取り上げた内容の確認と整理（90分）</p>						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	<p>平常点70%、技術の到達度30%</p> <p>平常点：授業への取り組みにより総合的に評価する。</p> <p>技術の到達度：使用するクラブの機能通り打つことができているか評価する。</p>						
履修上の注意	<p>運動に適した服装で参加すること。ゴルフ用手袋は大学で用意している。</p> <p>授業は、体育館と屋外のゴルフ練習場で行いますので、体育館用シューズと屋外用シューズの両方を準備して下さい。</p> <p>※質問は授業の前後で受け付けます。</p>						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習4／（ソフトバレーボール）						
担当教員	酒谷 友香子					科目ナンバ-	Z61114
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	この科目の共通テーマは「スポーツのより深い楽しさの発見」である。						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通ずる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	ソフトバレーボールのルールを説明できる。【知識・理解】 技術を習得し、戦術を考えてゲームをする事が出来るようになる。【態度・志向性】 グループのメンバーやクラス（履修者）のメンバーとコミュニケーションがとれる。【汎用的技能】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 オーバーハンドパス ゲーム：ルールの理解 第3回 アンダーハンドサービス、ゲーム：ルールの理解(実践編) 第4回 アンダーハンドパス、ゲーム：ポジショニングの理解 第5回 フローターサービス、ゲーム：ポジショニングの理解(実践編) 第6回 手投げボールのスパイク、ゲーム：ブロックの役割 第7回 トスからのスパイク、ゲーム：ブロックの役割(実践編) 第8回 三段攻撃パターン1、ゲーム：セッターの役割 第9回 三段攻撃パターン2、ゲーム：セッターの役割(実践編) 第10回 三段攻撃パターン3、ゲーム：アタッカーの役割 第11回 コンビネーションプレーパターン1、ゲームアタッカーの役割(実践編) 第12回 コンビネーションプレーパターン2、ゲーム：レシーバーの重要性 第13回 より高度なゲームの戦術 弱点のカバー、ゲーム：レシーバーの重要性(実践編) 第14回 より高度なゲームの戦術 長所の生かし方、ゲーム：総合 第15回 まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業は実技なので、時間内において動き続けられる体力が必要である。通学では徒歩を心掛け、日頃から体を動かし、体力をつける。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	出席状況と参加意欲、ゲームの勝敗数を総合して評価します。 平常点80％レポート20％						
履修上の注意	運動に適した服装及び体育館シューズを持参の上、受講して下さい。ソフトバレーボールのみします。						
教科書	特になし						
参考書	特になし						

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習5／（エアロビクス）						
担当教員	益富 真子					科目ナンバ-	Z61115
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	エアロビクスの実践						
授業の概要	この授業では、老若男女問わず人気の高いエアロビクスを通し、生涯にわたってスポーツを実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通じる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。基礎的技術を習得して得られる満足感と、身体を動かすことの楽しさ・面白さを体験することで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	自身の体力に合わせて積極的に参加することができる。【態度・志向性】 エアロビクスの理論を理解した上で動くことができる。【知識・理解】 様々なステップを覚え、スムーズに実施できる。【態度・志向性】 身体を動かすことの楽しさを知り、その効果を実感することができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 ビギナー（初心者向け）&ステップの名称 基本 第3回 ビギナー（初心者向け）&ステップの名称 発展 第4回 ローハイミックス（初級） 第5回 ローハイミックス（初級） 発展 第6回 マーシャルアーツ系（初級） 第7回 ローハイミックス（中級） 第8回 ローハイミックス（中級） 発展 第9回 マーシャルアーツ系（中級） 第10回 ダンス系（中級） 第11回 ダンス系（中級） 発展 第12回 ダンス系（中級） 発展 完成形 第13回 ローハイミックス（上級） 第14回 ローハイミックス（上級） 発展 第15回 実技まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前：授業の中でも十分なストレッチを行うが、柔軟性を高め、怪我を予防するため、5分程度、特に下肢のストレッチを、主に授業で行っている方法を用いて行う。 授業後：筋肉疲労を緩和するため、当日主に使った筋肉や、疲労の自覚症状がある部位のストレッチを5分程度、主に授業で行っている方法を用いて行う。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	平常点80%、理解度20% 受講態度を重視し評価する。 体操服やシューズを忘れた場合などは減点する。 できるかできないかではなく、積極的に取り組んでいるかどうかを毎回動きながらチェックする。						
履修上の注意	運動に適した服装、および体育館シューズを持参のうえ受講すること。 ※質問は授業の前後で受け付ける。						
教科書							
参考書							

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習5／（エアロビクス）						
担当教員	益富 真子					科目ナンバ-	Z61115
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	エアロビクスの実践						
授業の概要	この授業では、老若男女問わず人気の高いエアロビクスを通し、生涯にわたってスポーツを実践できる力を養成する。スポーツの知識を学び実践することは、人間の身体に対する正しい知識と、日常生活にも通じる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもある。基礎的技術を習得して得られる満足感と、身体を動かすことの楽しさ・面白さを体験することで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	自身の体力に合わせて積極的に参加することができる。【態度・志向性】 エアロビクスの理論を理解した上で動くことができる。【知識・理解】 様々なステップを覚え、スムーズに実施できる。【態度・志向性】 身体を動かすことの楽しさを知り、その効果を実感することができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 ビギナー（初心者向け）&ステップの名称 基本 第3回 ビギナー（初心者向け）&ステップの名称 発展 第4回 ローハイミックス（初級） 第5回 ローハイミックス（初級） 発展 第6回 マーシャルアーツ系（初級） 第7回 ローハイミックス（中級） 第8回 ローハイミックス（中級） 発展 第9回 マーシャルアーツ系（中級） 第10回 ダンス系（中級） 第11回 ダンス系（中級） 発展 第12回 ダンス系（中級） 発展 完成形 第13回 ローハイミックス（上級） 第14回 ローハイミックス（上級） 発展 第15回 実技まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前：授業の中でも十分なストレッチを行うが、柔軟性を高め、怪我を予防するため、5分程度、特に下肢のストレッチを、主に授業で行っている方法を用いて行う。 授業後：筋肉疲労を緩和するため、当日主に使った筋肉や、疲労の自覚症状がある部位のストレッチを5分程度、主に授業で行っている方法を用いて行う。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	平常点80%、理解度20% 受講態度を重視し評価する。 体操服やシューズを忘れた場合などは減点する。 できるかできないかではなく、積極的に取り組んでいるかどうかを毎回動きながらチェックする。						
履修上の注意	運動に適した服装、および体育館シューズを持参のうえ受講すること。 ※質問は授業の前後で受け付ける。						
教科書							
参考書							

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習6／（フィットネス）						
担当教員	益富 真子					科目ナンバ-	Z61116
学期	前期／1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	フィットネス（健康のために行う運動）についての理論と実践						
授業の概要	フィットネスという言葉の解釈は、元々の「適合」を含め「健康であること」や「健康のための運動」等様々であるが、ここでは健康のために行う運動として捉える。この授業では、ストレッチ、有酸素運動、各種筋力トレーニングやピラティスを組み合わせた形で行い、生涯にわたってスポーツを実践できる力を養成する。身体に関する幅広い知識を学び実践することは健康への意識と関心を高めることでもある。多方面から基礎を学び、スポーツ全般に対する楽しさ・面白さを身体全体で体験することで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	自身の体力に合わせて積極的に参加することができる。【態度・志向性】 様々な動きの意味と効果を理解することができる。【知識・理解】 身体の使い方を意識して運動を実施することができる。【態度・志向性】 色々な部位の鍛え方や、ほぐし方を考えることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 フィットネスとは ピラティス呼吸法 第3回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腹部） 第4回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・基本動作） 第5回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・腹部） 第6回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腰） 第7回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部） 第8回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（胸部） 第9回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・脚） 第10回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（殿部） 第11回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部 発展形） 第12回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング（腕） 第13回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） ピラティス 第14回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング 第15回 実技まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	週1回の授業だけではなかなか身体を変えることは困難であり、身につかない。身体のためになる多くのことを授業中に話しているので、それを踏まえ、自分に必要と思われるストレッチや、コアを鍛えるトレーニング、呼吸法など、日々考えて実践することが大切である。毎日10分程度のストレッチを行うと効果的である。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	平常点80%、理解度20% プリント記入内容を含め受講態度を重視し評価する。 体操服やシューズを忘れた場合などは減点する。 できるかできないかではなく、積極的に取り組んでいるかを動きながらチェックする。						
履修上の注意	運動に適した服装、および体育館シューズを持参のうえ受講すること。 ※質問は授業の前後で受け付ける。						

教科書	
参考書	

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習6／（フィットネス）						
担当教員	益富 真子					科目ナンバ-	Z61116
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	フィットネス（健康のために行う運動）についての理論と実践						
授業の概要	フィットネスという言葉の解釈は、元々の「適合」を含め「健康であること」や「健康のための運動」等様々であるが、ここでは健康のために行う運動として捉える。この授業では、ストレッチ、有酸素運動、各種筋力トレーニングやピラティスを組み合わせた形で行い、生涯にわたってスポーツを実践できる力を養成する。身体に関する幅広い知識を学び実践することは健康への意識と関心を高めることでもある。多方面から基礎を学び、スポーツ全般に対する楽しさ・面白さを身体全体で体験することで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	自身の体力に合わせて積極的に参加することができる。【態度・志向性】 様々な動きの意味と効果を理解することができる。【知識・理解】 身体の使い方を意識して運動を実施することができる。【態度・志向性】 色々な部位の鍛え方や、ほぐし方を考えることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 フィットネスとは ピラティス呼吸法 第3回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腹部） 第4回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・基本動作） 第5回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・腹部） 第6回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腰） 第7回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部） 第8回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（胸部） 第9回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・脚） 第10回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（殿部） 第11回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部 発展形） 第12回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング（腕） 第13回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） ピラティス 第14回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング 第15回 実技まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	週1回の授業だけではなかなか身体を変えることは困難であり、身につかない。身体のためになる多くのことを授業中に話しているので、それを踏まえ、自分に必要と思われるストレッチや、コアを鍛えるトレーニング、呼吸法など、日々考えて実践することが大切である。毎日10分程度のストレッチを行うと効果的である。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	平常点80%、理解度20% プリント記入内容を含め受講態度を重視し評価する。 体操服やシューズを忘れた場合などは減点する。 できるかできないかではなく、積極的に取り組んでいるかを動きながらチェックする。						
履修上の注意	運動に適した服装、および体育館シューズを持参のうえ受講すること。 ※質問は授業の前後で受け付ける。						

教科書	
参考書	

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習6／（フィットネス）						
担当教員	益富 真子					科目ナンバ-	Z61116
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	フィットネス（健康のために行う運動）についての理論と実践						
授業の概要	フィットネスという言葉の解釈は、元々の「適合」を含め「健康であること」や「健康のための運動」等様々であるが、ここでは健康のために行う運動として捉える。この授業では、ストレッチ、有酸素運動、各種筋力トレーニングやピラティスを組み合わせた形で行い、生涯にわたってスポーツを実践できる力を養成する。身体に関する幅広い知識を学び実践することは健康への意識と関心を高めることでもある。多方面から基礎を学び、スポーツ全般に対する楽しさ・面白さを身体全体で体験することで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していく。						
到達目標	自身の体力に合わせて積極的に参加することができる。【態度・志向性】 様々な動きの意味と効果を理解することができる。【知識・理解】 身体の使い方を意識して運動を実施することができる。【態度・志向性】 色々な部位の鍛え方や、ほぐし方を考えることができる。【態度・志向性】						
授業計画	第1回 ガイダンス 第2回 フィットネスとは ピラティス呼吸法 第3回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腹部） 第4回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・基本動作） 第5回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） ピラティス（呼吸法・腹部） 第6回 ストレッチ・ショートエアロ（初心者向け） 筋力トレーニング（腰） 第7回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部） 第8回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（胸部） 第9回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・脚） 第10回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） 筋力トレーニング（殿部） 第11回 ストレッチ・ショートエアロ（中級） ピラティス（呼吸法・背部 発展形） 第12回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング（腕） 第13回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） ピラティス 第14回 ストレッチ・ショートエアロ（上級） 筋力トレーニング 第15回 実技まとめ						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	週1回の授業だけではなかなか身体を変えることは困難であり、身につかない。身体のためになる多くのことを授業中に話しているので、それを踏まえ、自分に必要と思われるストレッチや、コアを鍛えるトレーニング、呼吸法など、日々考えて実践することが大切である。毎日10分程度のストレッチを行うと効果的である。						
授業方法	実技と講義						
評価基準と評価方法	平常点80%、理解度20% プリント記入内容を含め受講態度を重視し評価する。 体操服やシューズを忘れた場合などは減点する。 できるかできないかではなく、積極的に取り組んでいるかを動きながらチェックする。						
履修上の注意	運動に適した服装、および体育館シューズを持参のうえ受講すること。 ※質問は授業の前後で受け付ける。						

教科書	
参考書	

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習7／（バドミントン・ゴルフ・卓球）						
担当教員	前田 正登					科目ナンバ-	Z61117
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのバドミントン、ゴルフ及び卓球を楽しもう						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成します。スポーツの知識を学び実践することは、人の身体に関する正しい知識と、日常生活にも通じる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもあります。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していきます。 本授業では、「生涯スポーツ」に適しているバドミントン及びゴルフ、卓球の3種目について、ゲームがハードに行えるように、技術、体力を高めていくことを目標とします。						
到達目標	バドミンントンのゲームが行えるように、技術、体力を高める。また、「生涯スポーツ」としてふさわしいゴルフや卓球がプレーできるように技能を高める。 具体的には、バドミンントンのゲームを行うこと及びゴルフや卓球を行うことによって、「生涯スポーツ」に取り組むことができるようになる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>本授業では15週のプロプログラムからなるバドミントンを中心に実施しますが、「生涯スポーツ」に適しているゴルフや卓球などのスポーツの種目も実施します。スポーツの実習を行っていく中で、「スポーツ科学」としての講義も盛り込んでいきます。</p> <p>第1週：ガイダンスとバドミンントンの導入 [ラケット、シャトルに馴れる] ・15週の実習の流れと実習内容の説明。 ・ラケット、シャトルに馴れるための練習。 ・シャトル、ラケットの特性解説。</p> <p>第2週：各種ストロークの練習 [各種ストロークの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。</p> <p>第3週：各種ストロークの練習 [各種サービスの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。</p> <p>第4週：模擬試合 [ゲームを想定した練習、模擬試合と総合練習] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 ・ペアを決定し、ストローク、サービスなどをペアで練習するとともにペアのコンビネーション（作戦・動き・位置取り）も練習に組み込む。</p> <p>第5週～第7週：試合 [試合と総合練習] ・リーグ戦を行う。毎試合後に反省、対策としての総合練習を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。</p> <p>第8週：ゴルフの導入 [クラブ、ボールに馴れる] ・クラブ、ボールの特性解説。 ・クラブ、ボールに馴れるためのスイング練習。</p> <p>第9週：実打練習 [各種クラブを用いた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。</p> <p>第10週：実打練習 [各種クラブの特性に応じた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。</p> <p>第11週：バタールゴルフの導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。</p> <p>第12週：バタールゴルフのゲーム [ゲーム] ・バタールゴルフのゲームを行う。 ・自分たちのゲーム内容を評価・反省する。</p> <p>第13週：卓球の導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。</p> <p>第14週：卓球の試合 [ゲーム] ・卓球の試合を行う。</p> <p>第15週：授業全体の総括 [卓球の試合と授業総括] ・卓球の試合を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。 ・授業全体の総括を行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	基本的な運動技術は授業で習得していきます。授業内での学習だけでなく、バドミントンやゴルフ、卓球について、各種目をより深く理解するために、授業時間以外に、それらで使用される用具やコート、ゴルフ場などの器具・施設について、資料を収集するなどにより理解を深めておいてください。（学習時間：各種目1時間程度）						
授業方法	身体運動を伴う実習および演習						

評価基準と 評価方法	1) 学習意欲や施設・用具の取り扱い、授業の参加態度・姿勢等 70% 2) 技能の到達度 30% ※ 運動ができる服装（体操服やシューズ）を忘れた場合は減点します。
履修上の注意	・服装に関しては原則的に自由ですが、ジーパンなど運動しにくいものは避け、運動ができる服装で出席してください。 ・靴は体育館では体育館シューズ、グラウンドでは屋外用シューズを使用すること。
教科書	特になし
参考書	必要に応じて授業で紹介する。

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習7／（バドミントン・ゴルフ・卓球）						
担当教員	前田 正登					科目ナンバ-	Z61117
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのバドミントン、ゴルフ及び卓球を楽しもう						
授業の概要	この授業では、大学生に人気が高いスポーツ種目を取り上げ、学んだスポーツを生涯にわたって実践できる力を養成します。スポーツの知識を学び実践することは、人の身体に関する正しい知識と、日常生活にも通じる身体の動かし方を習得し、健康への意識と関心を高めることでもあります。スポーツの基礎的技術を習得して得られる満足感と、スポーツをすることの純粋な楽しさ・面白さを体全体で体験できるようにすることで、授業外でのスポーツへの取り組みを促していきます。 本授業では、「生涯スポーツ」に適しているバドミントン及びゴルフ、卓球の3種目について、ゲームがハードに行えるように、技術、体力を高めていくことを目標とします。						
到達目標	バドミンントンのゲームが行えるように、技術、体力を高める。また、「生涯スポーツ」としてふさわしいゴルフや卓球がプレーできるように技能を高める。 具体的には、バドミンントンのゲームを行うこと及びゴルフや卓球を行うことによって、「生涯スポーツ」に取り組むことができるようになる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>本授業では15週のプロプログラムからなるバドミントンを中心に実施しますが、「生涯スポーツ」に適しているゴルフや卓球などのスポーツの種目も実施します。スポーツの実習を行っていく中で、「スポーツ科学」としての講義も盛り込んでいきます。</p> <p>第1週：ガイダンスとバドミンントンの導入 [ラケット、シャトルに馴れる] ・15週の実習の流れと実習内容の説明。 ・ラケット、シャトルに馴れるための練習。 ・シャトル、ラケットの特性解説。</p> <p>第2週：各種ストロークの練習 [各種ストロークの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。</p> <p>第3週：各種ストロークの練習 [各種サービスの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。</p> <p>第4週：模擬試合 [ゲームを想定した練習、模擬試合と総合練習] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 ・ペアを決定し、ストローク、サービスなどをペアで練習するとともにペアのコンビネーション（作戦・動き・位置取り）も練習に組み込む。</p> <p>第5週～第7週：試合 [試合と総合練習] ・リーグ戦を行う。毎試合後に反省、対策としての総合練習を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。</p> <p>第8週：ゴルフの導入 [クラブ、ボールに馴れる] ・クラブ、ボールの特性解説。 ・クラブ、ボールに馴れるためのスイング練習。</p> <p>第9週：実打練習 [各種クラブを用いた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。</p> <p>第10週：実打練習 [各種クラブの特性に応じた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。</p> <p>第11週：バタールゴルフの導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。</p> <p>第12週：バタールゴルフのゲーム [ゲーム] ・バタールゴルフのゲームを行う。 ・自分たちのゲーム内容を評価・反省する。</p> <p>第13週：卓球の導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。</p> <p>第14週：卓球の試合 [ゲーム] ・卓球の試合を行う。</p> <p>第15週：授業全体の総括 [卓球の試合と授業総括] ・卓球の試合を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。 ・授業全体の総括を行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	基本的な運動技術は授業で習得していきます。授業内での学習だけでなく、バドミントンやゴルフ、卓球について、各種目をより深く理解するために、授業時間以外に、それらで使用される用具やコート、ゴルフ場などの器具・施設について、資料を収集するなどにより理解を深めておいてください。（学習時間：各種目1時間程度）						
授業方法	身体運動を伴う実習および演習						

評価基準と 評価方法	1) 学習意欲や施設・用具の取り扱い、授業の参加態度・姿勢等 70% 2) 技能の到達度 30% ※ 運動ができる服装（体操服やシューズ）を忘れた場合は減点します。
履修上の注意	・服装に関しては原則的に自由ですが、ジーパンなど運動しにくいものは避け、運動ができる服装で出席してください。 ・靴は体育館では体育館シューズ、グラウンドでは屋外用シューズを使用すること。
教科書	特になし
参考書	必要に応じて授業で紹介する。

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習7／（バドミントン・ゴルフ・卓球）						
担当教員	村田 和隆					科目ナンバ-	Z61117
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのバドミントン、ゴルフ及び卓球を楽しもう						
授業の概要	本授業では「生涯スポーツ」に適しているバドミントン・ゴルフ・卓球を実施します。スポーツの実習を行っていく中で、「スポーツ科学」としての講義も盛り込んでいきます。						
到達目標	バドミントン、ゴルフ、卓球のルールを理解し、仲間と協力してプレーすることができる。【態度・志向性】 各種目をプレーするために必要な体力を向上することができる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>【実施スポーツ種目予定】 第1週～第5週『バドミントン』 第6週～第10週『ゴルフ』 第11週～第15週『卓球』</p> <p>【内容】 第1週：ガイダンスとバドミンントンの導入 [ラケット、シャトルに慣れる] ・15週の実習の流れと実習内容の説明 ・ラケット、シャトルに慣れるための練習 ・シャトル、ラケットの特性解説 第2週：各種ストロークの練習 [各種ストロークの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。 第3週：各種ストロークの練習 [各種サービスの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。 第4週：模擬試合 [ゲームを想定した練習、模擬試合と総合練習] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 ・ペアを決定し、ストローク、サービスなどをペアで練習するとともにペアのコンビネーション（作戦・動き・位置取り）も練習に組み込む。 第5週：試合 [試合と総合練習] ・リーグ戦を行う。毎試合後に反省、対策としての総合練習を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。</p> <p>第6週：ゴルフの導入 [クラブ、ボールに馴れる] ・クラブ、ボールの特性解説 ・クラブ、ボールに馴れるためのスイング練習 第7週：実打練習 [各種クラブを用いた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。 第8週：実打練習 [各種クラブの特性に応じた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。 第9週：パターゴルフの導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 第10週：パターゴルフのゲーム [ゲーム] ・パターゴルフのゲームを行う。 ・自分たちのゲーム内容を評価・反省する。</p> <p>第11週：卓球の導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 第12週～第13週：卓球の試合 [シングルスゲーム] ・シングルスゲームのルールを理解し、試合を行う。 ・各種サービスを練習する。 第14週：卓球の試合 [ダブルスゲーム] ・ダブルスゲームのルールを理解し、試合を行う。 第15週：授業全体の総括 [卓球の試合と授業総括] ・卓球の試合を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。 ・授業全体の総括を行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：バドミントン・ゴルフ・卓球のルールを授業中に質問するので、答えられるようにしておいて下さい。（学習時間：1時間） 授業後学習：使用される用具やコート、ゴルフ場などの施設について、資料を収集して授業中の質問に答えられるようにしておいて下さい。（学習時間：1時間）						

授業方法	身体運動を伴う実習および演習
評価基準と評価方法	1) 学習意欲や施設・用具の取り扱い等の平常点 70% 2) 技能の到達度 30% ※ 運動ができる服装（体操服やシューズ）を忘れた場合は減点します。 ※ 欠席回数が5回以上の者は、成績評価の対象と対象としません。
履修上の注意	・服装に関しては原則的に自由ですが、ジーパンなど運動しにくいものは避け、運動ができる服装で出席してください。 ・靴は体育館では体育館シューズ、グラウンドでは屋外用シューズを使用すること。 ・20分以上の遅刻は欠席扱いとします。（交通機関延着による遅刻は、延着証明書がある場合は遅刻としない） ・遅刻3回で欠席1回とみなします。
教科書	特になし
参考書	必要に応じて授業で紹介する。

科目区分	健康スポーツ系列／健康・スポーツ系列						
科目名	スポーツ実習7／（バドミントン・ゴルフ・卓球）						
担当教員	村田 和隆					科目ナンバ-	Z61117
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1～2	単位数	1.0
授業のテーマ	生涯スポーツとしてのバドミントン、ゴルフ及び卓球を楽しもう						
授業の概要	本授業では「生涯スポーツ」に適しているバドミントン・ゴルフ・卓球を実施します。スポーツの実習を行っていく中で、「スポーツ科学」としての講義も盛り込んでいきます。						
到達目標	バドミントン、ゴルフ、卓球のルールを理解し、仲間と協力してプレーすることができる。【態度・志向性】 各種目をプレーするために必要な体力を向上することができる。【態度・志向性】						
授業計画	<p>【実施スポーツ種目予定】 第1週～第5週『バドミントン』 第6週～第10週『ゴルフ』 第11週～第15週『卓球』</p> <p>【内容】 第1週：ガイダンスとバドミンントンの導入 [ラケット、シャトルに慣れる] ・15週の実習の流れと実習内容の説明 ・ラケット、シャトルに慣れるための練習 ・シャトル、ラケットの特性解説 第2週：各種ストロークの練習 [各種ストロークの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。 第3週：各種ストロークの練習 [各種サービスの練習] ・各種ストローク及び各種サービスを練習する。 第4週：模擬試合 [ゲームを想定した練習、模擬試合と総合練習] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 ・ペアを決定し、ストローク、サービスなどをペアで練習するとともにペアのコンビネーション（作戦・動き・位置取り）も練習に組み込む。 第5週：試合 [試合と総合練習] ・リーグ戦を行う。毎試合後に反省、対策としての総合練習を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。</p> <p>第6週：ゴルフの導入 [クラブ、ボールに馴れる] ・クラブ、ボールの特性解説 ・クラブ、ボールに馴れるためのスイング練習 第7週：実打練習 [各種クラブを用いた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。 第8週：実打練習 [各種クラブの特性に応じた実打練習] ・各種クラブを用いた実打練習をする。 第9週：パターゴルフの導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 第10週：パターゴルフのゲーム [ゲーム] ・パターゴルフのゲームを行う。 ・自分たちのゲーム内容を評価・反省する。</p> <p>第11週：卓球の導入 [ルールの説明と模擬ゲーム] ・ルールを解説し、模擬ゲームをする。 第12週～第13週：卓球の試合 [シングルスゲーム] ・シングルスゲームのルールを理解し、試合を行う。 ・各種サービスを練習する。 第14週：卓球の試合 [ダブルスゲーム] ・ダブルスゲームのルールを理解し、試合を行う。 第15週：授業全体の総括 [卓球の試合と授業総括] ・卓球の試合を行う。 ・自分たちの試合内容を評価・反省する。 ・授業全体の総括を行う。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容・時間）	授業前学習：バドミントン・ゴルフ・卓球のルールを授業中に質問するので、答えられるようにしておいて下さい。（学習時間：1時間） 授業後学習：使用される用具やコート、ゴルフ場などの施設について、資料を収集して授業中の質問に答えられるようにしておいて下さい。（学習時間：1時間）						

授業方法	身体運動を伴う実習および演習
評価基準と評価方法	1) 学習意欲や施設・用具の取り扱い等の平常点 70% 2) 技能の到達度 30% ※ 運動ができる服装（体操服やシューズ）を忘れた場合は減点します。 ※ 欠席回数が5回以上の者は、成績評価の対象と対象としません。
履修上の注意	・服装に関しては原則的に自由ですが、ジーパンなど運動しにくいものは避け、運動ができる服装で出席してください。 ・靴は体育館では体育館シューズ、グラウンドでは屋外用シューズを使用すること。 ・20分以上の遅刻は欠席扱いとします。（交通機関延着による遅刻は、延着証明書がある場合は遅刻としない） ・遅刻3回で欠席1回とみなします。
教科書	特になし
参考書	必要に応じて授業で紹介する。